

委員会報告 見る・聞く・学ぶ

総務産業常任委員会

— 埼玉県庄和浄水場 —

将来に安全・安心な水の供給を求めて

平成24年7月19日、埼玉県庄和浄水場の視察をした。当施設は7市1町を給水区域とした水道用水供給事業を行っている。昭和45年に建設を始め、増大する水需要に対応するため、施設の拡張を行い、昭和53年3月に現在の施設能力である日量35万 m^3 が完成し、5つの浄水場に送水している。給水人口は約124万人である。

視察では、今年5月に発生したホルムアルデヒドの水質事故後の対応や上水道管路の耐震化等の説明を受けた。将来は送水だけでなく水処理を含めた総合的な水運用を検討しており、施設については平成32年までに老朽化に伴う耐震化を行う予定である。濁水や放射能の問題、情報の伝達等は水道用水供給事業全体会議で改善される。



文教民生常任委員会

— 高齢者福祉計画

— 平成24年度～平成26年度 —

第5期介護保険事業計画の説明と質疑

平成24年7月24日、今年度から3年間実施される「第5期介護保険事業計画について」担当課の説明と質疑を行い、事業計画全体を調査した。

高齢者福祉に対して、町民の関心が高いことから、質疑は「ユニバーサルデザインの視点」「高齢者が犯罪にあわない対策」「健康クラブの加入率」「緊急通報システムの現状」や「地域包括支援センターと町社会福祉協議会の在り方」など事業の全般にわたって活発に行われた。介護保険料の今回の伸び率は19.5%であったが、今後の上昇率は現時点では何とも言えない状態であると説明を受けた。介護保険料の抑制と介護保険事業の中核である地域包括支援センターの今後について真摯な説明を受け、超高齢化社会を迎える今後の施策についてさらなる研究が必要であると感じた。



議会運営委員会

— 嵐山町議会 —

全国町村議会議長会で特別賞を受賞した嵐山町議会を視察

議会運営委員会では、松伏町議会の改革や活性化についての意見が多く挙げられ、まずは先進議会の視察をすることに決め、嵐山町議会を視察研修した。

嵐山町は、議会基本条例、議会議員政治倫理条例を設定し、議員相互の自由討議の導入、議員による議会報告会の開催など、大変活発に議会活動をし、全国町村議会議長会から特別表彰を受けている。今後松伏町の議会を活性化するため、嵐山町議会を参考に議論を重ねてできることから実行していきたいと意見が一致した。